

# 農林水産商工常任委員会提出資料

(令和元年6月26日)

項 目	ページ
1 主要農産物の生産販売状況について 【生産振興課】 .....	1
2 「大栄西瓜」の地理的表示（G I）保護制度登録について 【販路拡大・輸出促進課】 .....	2

農 林 水 産 部



# 主要農産物の生産販売状況について

令和元年6月26日  
生産振興課

6月20日現在での主要農産物の生産販売状況について報告します（全農ととり販売速報より）。

## 1. らっきょう

- (1) 栽培面積：167ha（前年比94%）  
→JAいなば114ha、JA中央51ha、JA西部2ha
- (2) 生育状況：積雪が少なく、暖冬傾向の天候で平年に比べ生育が良好であった。
- (3) 出荷時期：初出荷は5月20日（前年5月24日）、6月下旬で出荷終了予定である。
- (4) 販売状況：前年に比べ数量が多いため、単価は過去最高となった前年を下回っているものの、販売金額は前年並みとなっている。

区分	5月20日～6月20日までの販売実績（累計）		
	数量（t）	単価（円/kg）	販売金額（百万円）
R1年度	2,142	617	1,321
H30年度	1,881	710	1,335
前年比	114%	87%	99%

## 2. すいか

- (1) 栽培面積：271ha（前年比95%）  
→大栄169ha、倉吉90ha、東伯8ha他
- (2) 生育状況：4月は低温により着果不良も一部あったが、5月の平均気温が平年より高く推移したことから、前年並みの生育となった。
- (3) 出荷時期：各産地の初出荷は前年並みとなった。  
→大栄5月31日（前年5月31日）、倉吉6月3日（前年6月4日）
- (4) 販売状況：前年より大玉傾向（3L中心4L寄り）の出荷となっており、単価は過去最高の前年より高く、数量・販売額とも前年を上回っている。出荷のピークを迎えている。

区分	5月31日～6月20日までの販売実績（累計）		
	数量（t）	単価（円/kg）	販売金額（百万円）
R1年度	4,619	235	1,087
H30年度	4,178	227	949
前年比	111%	104%	115%

## 3. 白ねぎ

- (1) 栽培面積：春ねぎ79ha（前年比100%）、夏ねぎ80ha（前年比100%）  
秋冬ねぎは集計中（前年面積230ha）
- (2) 生育状況：春ねぎは、定植時期の高温・干ばつ、秋の台風等の影響があり、積雪が少なかったものの、前年に比べ出荷が減少した。  
夏ねぎは、春の温暖傾向の影響で生育が前進化している。
- (3) 出荷時期：春ねぎ初出荷は3月1日（前年3月7日）と前年より早まり、夏ねぎの初出荷も5月20日（前年6月1日）と前年より早まった。  
春ねぎの出荷は5月末に終了した。
- (4) 販売状況：数量は前年並み、単価は安値傾向で推移しているため、販売金額は前年を下回っている。

区分	3月1日～6月20日までの販売実績（累計）		
	数量（t）	単価（円/kg）	販売金額（百万円）
R1年度	2,129	317	675
H30年度	2,140	373	799
前年比	99%	85%	84%

※春ねぎ（3月～5月）、夏ねぎ（6月～9月）

## 4. 初夏どりブロッコリー

- (1) 栽培面積：167ha（前年比95%）
- (2) 生育状況：定植、初期生育は順調に進んだが、4月の低温、5月が乾燥傾向であり、生育がやや遅れている。
- (3) 出荷時期：初出荷は4月28日（前年4月28日）となった。
- (4) 販売状況：数量、単価、販売金額とも前年並みとなっている。

区分	4月28日～6月20日までの販売実績（累計）		
	数量（t）	単価（円/kg）	販売金額（百万円）
R1年度	1,292	304	393
H30年度	1,273	307	390
前年比	101%	99%	101%



# 「大栄西瓜」の地理的表示（GI）保護制度登録について

令和元年6月26日  
販路拡大・輸出促進課

「大栄西瓜」が「特定農林水産物等の名称の保護に関する法律」（地理的表示法）に基づき、次のとおり地理的表示（GI）保護制度に登録されました。本県産品の登録は、「鳥取砂丘/ふくべ砂丘らっきょう」、「大山ブロッコリー」、「こおげ花御所柿」に続き、4件目となります。

## 1 「大栄西瓜」GI登録概要

- (1) 登録産品：大栄西瓜
- (2) 登録生産者団体：鳥取中央農業協同組合
- (3) 登録日：令和元年6月14日（申請日：平成29年10月19日）

## 2 JA鳥取中央農協の今後の取組等

### (1) 登録により産地が期待していること

- ・他産地との差別化によるブランド価値向上と産地活性化
- ・付加価値による販売単価アップ、それに伴う生産意欲の高まり（面積増、後継者増）

### (2) 今後の取組（予定）

#### 〈県内でのPRイベント等〉

- ・6月29日（土）大栄西瓜選果場で開催の「大栄西瓜祭り」でのPRイベント実施
- ・選果場へのGI登録PR看板設置
- ・7月6日（土）、7日（日）わたたいなで開催の「鳥取すいかフェア」でのPRイベント実施

#### 〈その他〉

- ・出荷箱の変更（登録名称とともにGIマークの貼付）（令和2年度～）
- ・流通業者向けPR周知：市場関係者への周知、チラシ・パネル作成、販促用ポスター作成等
- ・生産者向け理解促進：研修会の開催等

## 3 県の取組み

### 〈県外でのPRイベント〉

- ・6月15日（土）アンテナショップ（東京都）で開催した「すいかの試食宣伝」で「大栄西瓜」GI登録をPRするとともに、アンテナショップ2階レストランでスイカメニューを提供した。
- ・6月22日（土）、23日（日）松坂屋高槻店（大阪府）で開催した「食のみやこ鳥取県フェア」で「大栄西瓜」GI登録のPRを行った。（北栄町もコナン着ぐるみ等で観光PRを実施した）

### 〈JAへの支援〉

- ・地理的表示保護制度登録産品拡大・ブランド化事業（補助率1/2）、食のみやこ鳥取ブランド団体支援交付金（補助率1/2）で各種PR経費を支援する。

## 【参考】

### ○「大栄西瓜」の概要

- ・生産者数：218戸（R元年）
- ・栽培面積：169ヘクタール（R元年）
- ・出荷量：8,824トン（H30年）
- ・販売金額：1,925,659千円（H30年）

### ○地理的表示（GI：Geographical Indication）保護制度

地域で育まれた伝統と特性を有する農林水産物・食品のうち、品質等の特性が産地と結び付いており、その結び付きを特定できるような名称（地理的表示）が付されているものについて、その地理的表示を知的財産として保護し、生産者の利益の増進と需要者の信頼の保護を図るための制度。

### ○県内のGI登録状況

- ・登録済（3件）：鳥取砂丘/ふくべ砂丘らっきょう（青果）（平成28年3月10日登録）、大山ブロッコリー、こおげ花御所柿（平成30年12月27日登録）
- ・今回登録（1件）：大栄西瓜（令和元年6月14日登録）
- ・登録申請済（1件）：鳥取砂丘/ふくべ砂丘らっきょう（加工）

### ○全国のGI登録状況（令和元年6月14日現在）

平成27年度のGI保護制度の運用開始以降、83産品が登録。登録申請の受付件数は200産品を超えている。